市民活動支援

2023 ヤマナハウス冊子プロジェクト

3 里山料理家の木村氏に取材を行った。

実施者

≪教　員≫　千葉大学 特任専門員 / 地域コーディネーター 阿部 厚司
≪学　生≫　千葉大学 大学院 融合理工学府 先進理化学専攻 生物学コース　1年 石井 和
千葉大学 工学部 総合工学科 デザインコース　4 年 高原 弘祐

≪協働パートナー≫
【行　政】南房総市役所 市民課 市民協働グループ　【企業等】ヤマナハウス
【個　人】ヤマナハウス南房総三芳のシェア里山 代表 永森 昌志，副代表 沖 浩志，マネージャー 溝口 耕一
合同会社 DIEM 代表社員　大阪谷 未久

1. 背景・目的・実施内容

私達はこれまで「ヤマナハウス冊子プロジェクト」と題した，南房総市の自然の豊かさを普及させることを目的とする活動を行ってきた。

2021 年度は，現地活動を通して南房総市は自然が豊かであるということが魅力であることを実感し，その魅力を更に普及させることができれば南房総市の活性化に貢献できるのではないかと考えた。そして，昨年度は，具体的な活動内容を決定することができた。南房総市三芳地区にある交流拠点である「ヤマナハウス」は都市部や地元在住の多様な人々が定期的に集まり，里山全体をリノベーションしながら衣食住を DIY（Do It Yourself）して自分のやりたいことができる場所である。その一方で，ヤマナハウスの活動は自然と密接に関係しているにも関わらず，自然の魅力をわかりやすく伝える，また，自然の中で活動する際に注意すべきことを示すような資料が限られている点が課題であると感じた。このことから，そのような点を補うことができるような資料を作成すれば，ヤマナハウスに関わる人達に自然の魅力を更に伝えることができ，南房総市の自然が豊かという特徴を普及させることで地方創生に貢献できるのではないかと考えた。そこで,「ヤマナハウス冊子プロジェクト」を始動させた。

そして，今年度の活動を通して，冊子の作成を完了させることができた。現地訪問は 2023 年 4 月～ 2024 年 2 月の期間中に計 13 回（4/8，4/23，6/17，7/22，8/5，8/26，9/9，9/24，11/11，11/19，12/16，1/14，2/23：ヤマナハウスの定例会）行った。記事の執筆は石井が，レイアウトのデザインは高原がおもに担当した。

現地訪問やオンライン上でのミーティングを通して，専門家への取材やインタビュー，記事執筆，そして，レイアウトの検討をおこなった。その結果，2024 年 2 月に A5，28 ページの冊子を作成することができ，計 200 部の印刷が完了した(図 -4)。項目ごとの実施内容を以下に示す。

①ヤマナハウスの成り立ちと今後のビジョン

ヤマナハウスが誕生した経緯，そして，今後の展望についてまとめた項目である。ヤマナハウス代表の永森氏にインタビューを行い，その内容を基に記事を執筆した (図 -2)。

②エリアのマップとその詳細

ヤマナハウスのエリアを簡易的に示した地図と各エリアの紹介文を掲載した項目である。ヤマナハウスのマップはドローンで撮影した写真に各施設の名前を書き加える形で作成し，別のページで4つのエリアごとの特徴をまとめた。

③野外活動の注意点

生活の中で自然があまり身近でないような人でも安心してヤマナハウスの活動に参加できるよう，野外で活動する際の注意点をまとめた。長年里山整備を行ってきた経験がある高橋氏協力のもと，野外活動をする際にふさわしい服装と行動をまとめた。

④ヤマナハウス生き物図鑑

ヤマナハウスの自然の豊かさをわかりやすく示すため，ヤマナハウスでみられる代表的ないきもの計 20 種を掲載した。図鑑では，自然環境調査会社に勤めていた経験がある沖氏に協力のもと，生き物の名称，季節性，ヤマナハウスで観察できる場所，特徴を掲載した。ほとんどの生き物の写真はヤマナハウスで撮影されたものを使用している。また，南房総地域全体の自然の豊かさを普及させることを目的としている「安房生き物よろず相談所」という沖氏の活動をコラムとして掲載した。

⑤里山と料理

里山の自然の魅力を食という観点から普及させるため，里山料理家として活躍している木村氏にインタビューと取材をおこなった（図 -3)。ヤマナハウスでよくみられる野草を使った料理のレシピと野草の魅力をまとめたコラムを掲載した。

⑥ヤマナメンバーへのアンケート

ヤマナハウスの魅力を人という観点から普及させるため，ヤマナハウスの活動に定期的に参加しているメンバーにアンケートをおこない，そのようなメンバーの特徴やヤマナハウスの魅力，そして，具体的な活動内容を紹介した。

1 ヤマナハウスの定例会で冊子の内容について説明した。　2 ヤマナハウス代表の永森氏にインタビューを行った。4 完成した冊子の概要。

域学協働の工夫！

★定期的にヤマナハウスの定例会で冊子作成の進捗を報告した。そうすることで、第三者からの意見を取り入れることができ、わかりやすい内容の冊子の作成に成功した（図 -1)。

★自然に関連する様々な分野の専門家に取材やインタビューを行うことで、専門的かつユニークな内容の記事を執筆することができた。

2. 成果と課題

(1) 地域貢献面

南房総市の自然の魅力を普及させることが期待できる，独自性のある内容の冊子を作成できた点が成果として挙げられる。また，安房地域にいる生き物の魅力を伝える Facebook アカウント「安房生き物よろず相談所」を冊子の中で紹介することで，読者の自然への関心をソーシャルメディアによって継続させるよう工夫することができた。今後は，Web ページの開設等このアカウントの運用方法を工夫することが重要だと考える。

(2) 教育・研究面

冊子の項目のひとつである「ヤマナハウスの生き物図鑑」では，自然環境調査員をした経験がある沖氏監修のもと，生き物の魅力を学術的な面からわかりやすく解説した。そうすることで，自然だけでなく，生物学への興味に繋がることを期待している。一方で，冊子の内容を活かしたツアーを企画することでより自然の魅力を効果的に伝えられると思われる。今後は自然への関心に直接つながるような冊子の活用法を検討していきたい。

3. 今後の展開

今年度の活動を通して，ヤマナハウスの冊子の作成を完了させることができた。今後は，ヤマナハウスで里山保全の重要性を解説するツアーの開催といった冊子の新たな活用法を検討しつつ，冊子の読者に対してソーシャルメディアを用いて自然に対する興味を継続させるための方法を模索していきたい。

＊表彰・マスコミ掲載など

・「YAMANA HOUSE ｜記事一覧｜ヤマナハウスの自然はどんな魅力？～生き物好きメンバーの座談会」掲載
https://yamanahouse.site/news/2023/09/11/article03/
・「中高生の皆さんへ _ 先輩たちの未来デザイン」 出演 https://www.youtube.com/watch?v=kV-1hEG-ou0
・「千葉県｜「若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト」の開催について」掲載
https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/kankyougakushuu/wakamono/2023/kontesutokaisai.html